

杉浦地域医療研究センター

活動報告2019年度



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻
杉浦地域医療研究センター運営委員会

施設概要

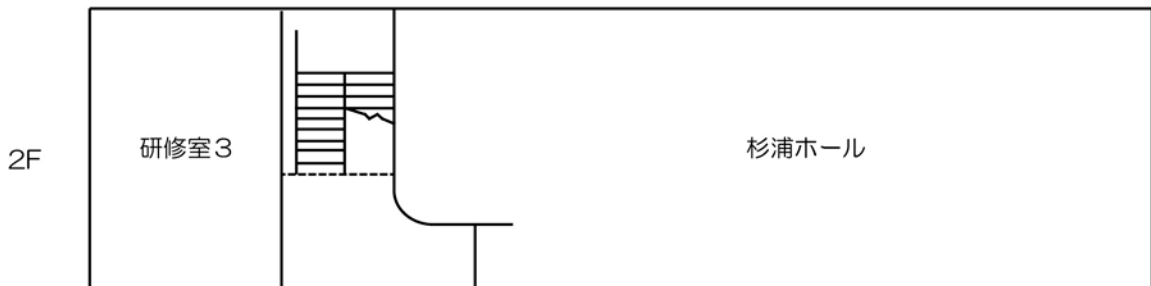
【名称】 杉浦地域医療研究センター

【開設日】 2009年6月23日

【場所】 京都大学大学院
医学研究科人間健康科学系専攻
〒606-8507 京都市左京区
聖護院川原町53

【建物概要】 階数・構造 2階建鉄骨造
延床面積 約500平方メートル

【設立経緯】 健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2019年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては136件（128日間）の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。研修室1、研修室2は文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」の研究室として使用された。屋外研修室1 および研修室3については、学内web予約システムによって使用予約され、多数の会議や小グループ研修会等に利用された。

2019年度 杉浦ホール利用記録

月別	日付	会議名等	人数
4月	4/1	運動機能測定会	40
	4/5	看護ガイダンス	36
	4/8	看護新入生ガイダンス	60
	4/18	研究紹介	
	4/21	京都府理学療法士会総会	40
	4/23	「栄養の日」市民公開講座下見	2
	4/24	定期清掃	
	4/27	アシストロボット研修会	60
5月	5/9	研究交流会	35
	5/11	ラパロ指導研修会（医学部附属病院産婦人科）	50
	5/16	医学U R A 説明会	
	5/18	リハ（理学）大学院説明会	
	5/20	地域活性化アプリ説明会	50
	5/22	定期清掃	1
	5/27	運動機能測定会	35
6月	6/7	学校訪問 講演会場	80
	6/7	関西おさかな勉強会	50
	6/8	2019年度Kyoto exchange meeting	
	6/17	講演会	100
	6/20	研究紹介（仮）	
	6/24	講演、打ち合わせ	15
	6/24	AMED超音波AI研究会議	50
	6/25	定期清掃	1
	6/25	Rajiv講演	50
7月	7/4	「栄養の日」市民公開講座下見	5
	7/12	講義	
	7/18	研究紹介（仮）	
	7/22	運動機能測定会	35
	7/22	COI会議	12
	7/24	葦崎高校向け講義	40
	7/25	定期清掃	1
	7/27	スピリチュアルセミナー	70
	7/28	スピリチュアルセミナー	70
	7/30	多様性をイノベーションに繋ぐ要因の研究と新たな評価法の提案に関する委員会会議	30

月別	日付	会議名等	人数
8月	8/2	(大学院授業) 共通課題ゼミ (稲富・谷向)	
	8/3	「栄養の日」市民公開講座	80
	8/7	教務掛使用 (オープンキャンパス)	50
	8/8	教務掛使用 (オープンキャンパス)	50
	8/9	(大学院授業) 共通課題ゼミ (稲富・谷向)	
	8/16	AYA世代がん患者支援講演会準備	10
	8/19	四天王寺中学校来校の際の講演会	80
	8/22	看護修論(若村先生)	30
	8/23	講義で使用(宇都宮先生)	30
	8/24	教務掛使用 (2年次・修士入試)	30
	8/25	運動機能セミナー	100
	8/26	教務掛使用 (2年次・修士入試)	30
	8/27	教務掛使用 (2年次・修士入試)	30
	8/28	教務掛使用 (2年次・修士入試)	
	8/29	学校訪問 講演会場	50
	8/30	定期清掃	1
	8/30	第10回SPACE-Nプログラム	10
	8/31	第10回SPACE-Nプログラム	30
9月	9/1	第10回SPACE-Nプログラム	30
	9/4	靴を考える会	20
	9/5	社会認知トレーニング介入で使用する動画作成の為	5
	9/6	社会認知トレーニング介入で使用する動画の作成	5
	9/13	緩和ケア研修会準備	10
	9/14	緩和ケア研修会	70
	9/17	研修会 高齢期の精神症状への理解と対応について学ぶ	70
	9/18	A-MEDのJRAS研究の打ちあわせ・講演会	10
	9/19	研究紹介 (仮)	
	9/21	クリティカルケア高度実践研究会	40
	9/22	社会認知トレーニング介入で使用する動画の作成会議	10
	9/26	令和元年度作業療法学専攻第13期生卒業研究発表会	50
	9/27	定期清掃	1
	9/29	科研パイロットスタディ	50
	9/30	データ検討会	30
	10月	10/2	第29回日本看護学教育学会企画委員会上映会
10/4		放射性同位元素検査技術学	40
10/6		第10回SPACE-Nプログラム	30
10/9		「患者家族メンタル支援学会」10/26研究会の下見	3
10/15		緩和ケアに関する講演会	50
10/17		研究紹介 (仮)	
10/19		科研パイロットスタディ	50
10/25		定期清掃	
10/26		患者家族メンタル支援学会	80
10/28		運動機能測定会	25
10/31	共同研究打ち合わせ	6	

月別	日付	会議名等	人数
11月	11/2	アシストロボット研究会	60
	11/3	アシストロボット研究会	30
	11/5	教務掛使用（博士後期課程入学試験）	
	11/9	身体運動の計測・解析・可視化とその応用に関する研究会	80
	11/11	東山中学校 学校訪問	60
	11/15	教務掛使用（特色入試）	
	11/21	研究紹介（仮）	
	11/22	定期清掃	1
	11/23	血縁者の心臓突然死予防を目的とした遺伝的剖検に関するシンポジウム	100
	11/24	第10回SPACE-Nプログラム	30
	11/26	再生リハビリテーション研究プログレス会	
	11/26	医学部附属病院北病棟新営工事についての住民説明会	50
	11/29	緩和ケア研修会準備	10
	11/30	緩和ケア研修会	90
	12月	12/5	理学療法学講座 卒論発表会
12/14		第10回SPACE-Nプログラム	30
12/16		西山研究室ゼミ卒論発表予演会	4
12/18		定期清掃	1
12/18		ゼミ予演会	2
12/19		研究紹介（仮）	
12/20		京都大学病院CBBバイオリソース（生体試料）統合管理データベースシステム構築フォローアップ会議	50
12/21		京都府精神科分野勉強会	
12/23		看護4回生卒論発表会	60
12/24		看護4回生卒論発表会	60
12/25		看護4回生卒論発表会	60
1月	1/9	看護学コース卒業試験	65
	1/11	文部科学省課題解決プログラム 講義	20
	1/16	看護学コース卒業試験	65
	1/17	検査コース卒業研究発表会	60
	1/22	定期清掃	1
	1/23	看護学コース卒業試験（再試験）	65
	1/26	京都ACP研究会市民公開講座	90
	1/27	看護科学コース博士中間発表会	
	1/29	地域活性化プロジェクト	
	1/30	看護学コース卒業試験（再試験）	65
	1/31	修士論文発表会（看護科学コース）	
2月	2/1	死の臨床研究会	
	2/3	修士論文発表会（看護科学コース）	
	2/4	修士論文発表会（リハビリテーション科学コース作業療法学講座）	
	2/5	研究打ち合わせ	
	2/6	修士論文発表会（検査技術科学コース）	
	2/7	修士論文発表会（検査技術科学コース）	
	2/10	修士論文発表会	
	2/12	電波時計確認(教務掛)	
	2/13	公聴会	
	2/13	作業療法教育学会 準備	5
	2/15	「医療現場における『哲学的対話実践』モデルの構築」研究会	50
	2/19	定期清掃	
	2/21	教務掛使用（個別学力検査）	
	2/29	ホスピス・緩和ケア フォーラム2019	50

月別	日付	会議名等	人数
3月	3/5	学位審査会場として	30
	3/7	停電	
	3/8	停電	
	3/10	CNS講演	
	3/12	京都府理学療法士会	
	3/13	定期清掃	
	3/14	ホスピス・緩和ケア フォーラム2019	50
	3/16	AMED超音波画像AI研究会議	50

事業名：文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム

「発達症への介入による国民的健康課題の解決」

研究代表者：十一 元三

使用スペース：研修室1、研修室2

1) 事業の趣旨と目的

近年、不登校・ひきこもり、依存症、うつ、アブセンティズム・プレゼンティズムなどのメンタルヘルスの問題が年齢層を問わず深刻な影響を社会にもたらしているが、その大きな背景として自閉スペクトラム症（ASD）をはじめとする発達症（発達障害）があり、国民的健康課題の解決には発達症への介入が不可欠であることが知られるようになった。

発達症は従来 of 精神疾患と異なり、医療機関における診療だけでは不十分であり、看護師、保健師、薬剤師、作業療法士、養護教諭、公認心理士など医療にかかわる多職種が地域で連携し、広く生活場面において支援する必要がある。今回の事業では、発達症にかかわる専門家が、多職種の受講生を対象に講義と演習を行い、高度なエキスパートへと育成することにより、地域にネットワークを形成し、発達症の特徴を踏まえた介入をコーディネートできる人材養成を目的とする。

2) 活動実績の概要

平成31年度（令和1年度）の事業内容としては、まず戦略的な人材養成の第一歩として、まず各職種についてベテランの受講生（1期生）を募り、教育プログラム（2年間で120時間）の前半を実施した。その際、受講生は地域の発達症支援の中核的センター所属者や自治体から推薦を受けたプロフェッショナルを中心に受け入れ、本事業修了後、身に着けた高度な専門性を速やかに発揮できるよう計画した。なお、1期生の職種構成は、作業療法士、看護師、公認心理士、発達心理士、養護教諭、公的支援センターカウンセラー（計8名）である。

上記教育プログラムと並行して、遠隔講義に使用するビデオ教材の収録を開始した。また、本事業のホームページを立ち上げ、事業内容のアナウンスや次期受講生の募集などを行った。<https://asdproject.jp/>

3) 今後の事業 等

令和2年度については、受講生の職種の拡大を目指し、医師（特に精神科、小児科）、歯科医師、薬剤師、家庭裁判所調査官、特別支援教諭などの受講申し込みを図るとともに、一部の講義をリモートあるいはe-learningで行い、受講生（社会人）の便宜に資する予定である。



京都大学

KYOTO UNIVERSITY